

令和5年度 栃木支部冬山山行・新年会報告書

1 期日：令和6年1月20～21日

2 場所：奥日光 五色山

3 日程コース

1月20日

(1班) JR日光駅(7:00)－日光湯元駐車場 登山開始(8:30)～国境平(13:00)～五色山(13:40～14:00)～駐車場(16:20)下山後、宿へ移動

(2班) JR赤沼駐車場(10:00) 戦場ヶ原散策(10:30～13:30)－ビジターセンター(15:00)－宿へ移動

宿泊場所 スパビレッジ カマヤ

4 参加者 (16名)

(1班) 渡邊 雄二・後藤 尚・高野 正道・鬼頭 秀夫・仲島 正子・大島 健一・林 祐寿・荒井 理、ゲスト5名

(2班) 仙石・猿山・長

5 行動概要

(1班) 年が明けて最初の支部行事として新年会を兼ねた冬山山行を実施した。今回は会員8名、ゲスト5名の他、別班として戦場ヶ原を散策する3名が参加することになった。

当日は朝7:00にJR日光駅に集合、車を取り合わせて奥日光へと向かう。湯元の駐車場に到着すると日帰り参加するメンバーと合流し、出発準備を整える。今回の参加者の中には、自分も含めて山岳コーチ1の受講者が多くいるため、出発前にビーコンチェックを行い、手順の確認を行った。予定の8:30に駐車場を出発し五色山をめざす。天気は今のところ薄日が差しているが、午後からは雪の予報。今夜から明日にかけては大雪の予報となっている。今日のところは雪が降っても荒れる心配はなさそうだ。林道から登山道に入りしばらくは平坦な樹林帯を進む。どこの山もそうだが、今年には特に雪が少ない。雪に苦しんでいる方には申し訳ないが、山にはもう少し雪が欲しいところだ。そのためトレースは無いが、ツボ足でも進むことができた。中曽根尾根に取りつくといよいよ急登が始まる。風下側の斜面もありやや雪が増えてきたため、ワカン装着してのラッセルとなる。気温も高いためハードシェルを脱ぎ薄着で急登を登っていく。木の根や岩の大きな段差に苦戦しながらの登りとなる。さらに湯場見平からの登りは熊笹の上に積もった雪のため、ルートを見誤るとワカンを着けた足でも大きく踏み抜くので、抜け出す度に体力を消耗することになった。国境平に近づいた頃には日差しもなくなり雪が降り始めた。ここからもうひと頑張り、気持ちのいいスノーリッジを進んで樹林帯を抜けると間もなくして五色山頂に到着。本来なら正面に奥白根山を眺めることができるはずだが、雪のためかすかにしか見る



【中曽根尾根を登る】

ことはできなかった。山頂からは来たルートに戻り、無事下山することができた。

二日目の予定は残念ながら雨のため中止となったが宿では温泉と食事を堪能し、新年会を兼ねた冬山山行を無事に終えることができた。

雪が少ないと思いながらもそこそこラッセルを楽しんだり、また多くの方々と五色山に登ることができ、いい一年のスタートを始めることができた。皆さんありがとうございました。

【文責 荒井 理】



【五色山 山頂】



【国境平から山頂を目指して】

(2班) 10時に赤沼駐車場で散策組のメンバー(猿山・長・仙石)が合流し、コース確認、準備の後、10時30分駐車場を出発。

駐車場は、8割方埋まっており、多いのに驚いた。殆どは、庵滝見学の人達のようにであった。

コースは、赤沼～弓張峠～庵滝の話も出たが、時間的なこともあり戦場ヶ原探勝路を小田代原展望台を目指すことにして出発した。

探勝路は雪は少なく、ところどころ雪の少ないところは凍っているところもあったが、通常のツボ足で時折キツツキの木つく音を聞きながら歩き、遠くの「貴婦人」の写真を撮ったりし、休憩後、12時30分に来たコースに戻り、13時30分赤沼着。行き、帰りにすれ違った人たちの中には軽アイゼンや雪のないところをスノーシューで歩くグループもあり、様々であった。

赤沼着後、湯元のビジターセンターを見学し、15時に宿舎着。

ビジターセンターの話では、最近、庵滝見学の人が多く、路上駐車を防ぐため、赤沼駐車場を開放しているとのことだった。

【文責 仙石】